

令和8年 業種別労働災害発生状況

(令和8年7月末現在 速報値)

小樽労働基準監督署

区分 業種別	当 年			前年同期			対 前 年		業種割合	令和7年確定値		
	死 亡	休 業	合 計	死 亡	休 業	合 計	増減数	増減率		死 亡	休 業	合 計
全 産 業 合 計	1	110 (47)	111 (47)		120 (39)	120 (39)	-9	-7.5	100.0		237	237
製 造 業		29 (14)	29 (14)		20 (5)	20 (5)	9	45.0	26.1		50	50
内 訳	食 料 品	19 (13)	19 (13)		14 (3)	14 (3)	5	35.7	17.1		30	30
	木 材 ・ 家 具							-			2	2
	紙 ・ 印 刷							-				
	窯 業 ・ 土 石											
	金 属 ・ 機 械	4	4		1 (1)	1 (1)	3	300.0	3.6		4	4
	そ の 他	6 (1)	6 (1)		5 (1)	5 (1)	1	20.0	5.4		14	14
鉱 業	鉱 山											
	土 石 採 取 業							-			1	1
建 設 業		11 (2)	11 (2)		9 (1)	9 (1)	2	22.2	9.9		16	16
内 訳	土 木 工 事 業	8 (2)	8 (2)		4	4	4	100.0	7.2		7	7
	建 築 工 事 業	1	1		1 (1)	1 (1)			0.9		2	2
	木 造 建 築 業	1	1		3	3	-2	-66.7	0.9		4	4
	そ の 他	1	1		1	1			0.9		3	3
交 通 運 輸 業		8 (3)	8 (3)		11 (2)	11 (2)	-3	-27.3	7.2		18	18
道 路 貨 物 運 送 業	1	5 (1)	6 (1)		11 (2)	11 (2)	-5	-45.5	5.4		26	26
陸 上 貨 物 取 扱 業		1 (1)	1 (1)				1	-	0.9		1	1
港 湾 運 送 業		1 (1)	1 (1)				1	-	0.9		1	1
林 業		1	1		1	1			0.9		1	1
水 産 業		2	2		3 (1)	3 (1)	-1	-33.3	1.8		3	3
卸 売 業 ・ 小 売 業		12 (9)	12 (9)		12 (7)	12 (7)			10.8		25	25
清 掃 ・ と 畜 業		8 (5)	8 (5)		8 (3)	8 (3)			7.2		9	9
上 記 以 外 の 事 業		32 (11)	32 (11)		45 (18)	45 (18)	-13	-28.9	28.8		86	86

本統計は、労働者死傷病報告（休業4日以上）、死亡災害の報告により集計したもので、[]内の数字は、転倒災害の件数で内数です。
 本統計は、速報値であり後日修正されることがあります。
 本統計は、北海道労働局ホームページからダウンロードできます。

○STOP！熱中症クールワークキャンペーン

3月より「職場における熱中症防止のためのガイドライン」が設けられ、「WBGT値の把握とその値に応じた熱中症予防対策の実施」、「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」、「関係作業※への周知」、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有する※に対して医師等の意見を踏まえた配慮を行うこと等の熱中症対策を講じましょう。

※労働者と同じ場所で作業する個人事業主等も含まれます。



○全国産業安全衛生大会の開催

本年度の全国産業安全衛生大会は、「大地にみなぎる 安全・健康 決意の力」をテーマに18年ぶりに札幌市にて開催されます。

全国の事業場からの研究発表、安全衛生の専門家による講演、パネルディスカッション等、日々の安全衛生活動に役立つ情報が盛りだくさんです。

併せて、最新の安全衛生保護具、機器等を展示する緑十字展2026も開催されます。



令和8年 業種別労働災害発生状況（その2）

（令和8年7月末現在 速報値）

小樽労働基準監督署

「上記以外の事業」の内訳

区分 業種別	当 年			前年同期			対 前 年		業種割合	令和7年確定値		
	死 亡 〔 〕内は 転倒災害	休 業 〔 〕内は 転倒災害	合 計 〔 〕内は 転倒災害	死 亡 〔 〕内は 転倒災害	休 業 〔 〕内は 転倒災害	合 計 〔 〕内は 転倒災害	増減数	増減率		死 亡	休 業	合 計
農 業		2	2				2	-	1.8		4	4
畜 産 業								-			1	1
理美容業・その他商業		1	1		2	2	-1	-50.0	0.9		3	3
金 融 ・ 広 告 業					1 (1)	1 (1)	-1	-100.0			2	2
映 画 ・ 演 劇 業								-				
通 信 業		1 (1)	1 (1)		9 (3)	9 (3)	-8	-88.9	0.9		14	14
教 育 ・ 研 究 業					1 (1)	1 (1)	-1	-100.0			1	1
保 健 衛 生 業		19 (6)	19 (6)		22 (7)	22 (7)	-3	-13.6	17.1		41	41
接 客 娛 楽 業		5 (2)	5 (2)		5 (4)	5 (4)			4.5		15	15
官 公 署								-				
そ の 他 の 事 業		4 (2)	4 (2)		5 (2)	5 (2)	-1	-20.0	3.6		5	5

「第三次産業」の抜粋

区分 業種別	当 年			前年同期			対 前 年		業種割合	令和7年確定値		
	死 亡 〔 〕内は 転倒災害	休 業 〔 〕内は 転倒災害	合 計 〔 〕内は 転倒災害	死 亡 〔 〕内は 転倒災害	休 業 〔 〕内は 転倒災害	合 計 〔 〕内は 転倒災害	増減数	増減率		死 亡	休 業	合 計
小 売 業		11 (9)	11 (9)		12 (7)	12 (7)	-1	-8.3	9.9		25	25
金 融 広 告 業					1 (1)	1 (1)	-1	-100.0			2	2
保 健 衛 生 業		19 (6)	19 (6)		22 (7)	22 (7)	-3	-13.6	17.1		41	41
うち社会福祉施設		15 (6)	15 (6)		12 (6)	12 (6)	3	25.0	13.5		25	25
うち医療保健業		4	4		10 (1)	10 (1)	-6	-60.0	3.6		15	15
接 客 娛 楽 業		5 (2)	5 (2)		5 (4)	5 (4)			4.5		15	15
うち飲食店		1	1		2 (2)	2 (2)	-1	-50.0	0.9		4	4
うち旅館業		2	2		2 (2)	2 (2)			1.8		8	8
うちゴルフ場								-				
そ の 他 の 事 業		4 (2)	4 (2)		5 (2)	5 (2)	-1	-20.0	3.6		5	5
うち警備業		2 (2)	2 (2)		4 (2)	4 (2)	-2	-50.0	1.8		4	4

令和8年 死亡労働災害発生概要

(7 月末現在 速報値)

小樽労働基準監督署

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
8	5	6時台	一般貨物自動車運送業	10人以上49人	交通事故（道路）	トラック	被災者は工事現場で発生したズリを運搬するため、事業場からダンプトラックを運転して現場に向かっていたところ、道路を逸走して倉庫に衝突したものである。